

トラック輸送状況の実態調査(北海道版) 結果概要

- 調査概要
- ・有効回答数 運送事業者 43 社 ・ドライバー190 名 (うち女性 2 名)
 - ・調査期間 平成 27 年 9 月 14 日 (月) ~20 日 (日) の 7 日間

1. 回答ドライバーの概要【3 ページ】

- ・車種は大型が 50.4%。
- ・年齢は 40 歳~59 歳が中心となっている。
- ・1 運行の走行距離は短・中距離運行 (走行距離 500km 以下) が 95.7%を占め、平均は 239km。

2. 回答事業者の概要【3 ページ】

- ・保有台数 21~50 台が最多、次いで 51~100 台で平均 47.6 台。

3. ドライバー拘束時間の概要【4 ページ】

- ・「手待ち時間がある運行」は全体の 41.8%。
- ・手待ち時間の平均は 1 時間 33 分で、「手待ち時間がない運行」と比べて拘束時間が 55 分長い。
- ・短・中距離運行の平均拘束時間が 11 時間台であるのに対し、**長距離運行の平均拘束時間は 15 時間を超えている。**
- ・輸送品類別では「軽工業品」や「農水産品」で長くなっている。

4. ドライバーの拘束時間等の分析

①【5 ページ】

- ・1 運行の**拘束時間が 13 時間を超える運行が全体の 29.5%、16 時間を超える運行が全体の 4.6%**ある。
- ・16 時間超の割合は、「トレーラ」、「長距離」、「軽工業品」で高くなっている。
- ・**休息期間 8 時間未満の運行が全体で 4.4%あり、「トレーラ」の割合が高くなっている。**
- ・**調査日 7 日間のうち「休日がなかった」ドライバーが、全体の 8.4%あり、「中型」の割合が高くなっている。**
- ・**連続運転時間 4 時間超の運行が全体で 9.6%あり、「トレーラ」、「長距離」、「化学工業品」の割合が高くなっている。**

②【6ページ】

- ・拘束時間は、全国平均でみると高速道路利用割合が高い運行のほうが短い（都道府県データでは、明確な傾向は見られない）。
- ・手待ち時間がある運行での手待ち時間は、1運行あたり平均1時間33分で、うち1時間超が49.6%、2時間超が25.9%、3時間超が12.5%。
- ・手待ち1回あたりの待ち時間は、平均57分、1時間超が26.1%、2時間超が9.5%、3時間超が3.2%。
- ・手待ち時間は発荷主で1時間01分、着荷主で57分発生。
- ・時間指定がある場合の方が手待ち時間が長い。

5. 荷役の書面化、荷役料金収受の状況【7ページ】

- ・荷役に関して書面化しているものが61.3%ある一方、事前連絡がなく現場で荷役を依頼されたものが6.6%。
- ・荷役料金を収受ができているのは、書面化しているもので67.3%、事前に口頭で依頼されたもので49.3%。
- ・事前連絡がなく現場で荷役を依頼されたものは、95.5%が荷役料金を収受できていない。
- ・荷役料金の収受ができていない品目は、「金属部品・金属加工品（半製品）」、「廃棄物」など。

6. 荷役、付帯作業の発生状況【8ページ】

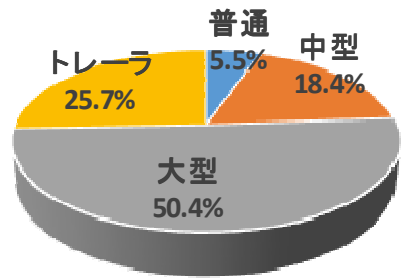
- ・荷役作業の発生割合は、発荷主で38.2%、着荷主で61.8%。
- ・荷役作業の平均時間は、発荷主で50分、着荷主で39分。
- ・その他付帯作業は、「保管場所までの横持ち運搬」、「検品」、「商品仕分け」が多く、割合の高い品目は、付帯作業により差異がみられる。

7. 事業者調査結果【9ページ】

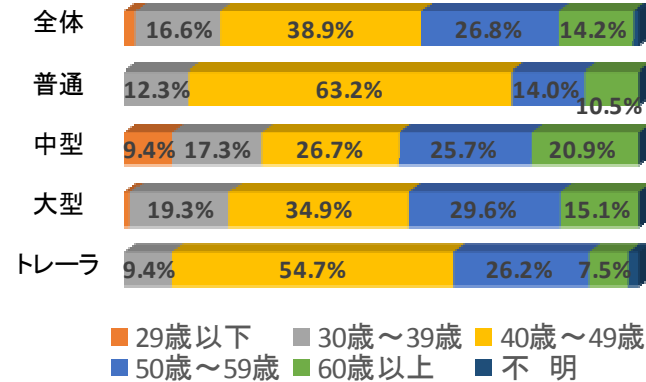
- ・ドライバーの拘束時間、労働時間、運転時間等の時間について、「泊付き及び日帰りの両方を担当」の方が概ね長い傾向にある。
- ・ドライバーは全体の53.5%で不足しており、保有車両台数による不足感に明確な傾向はみられない。
- ・不足している場合の対応としては、「事務職・管理職で対応」、「下請・傭車で対応」が最も多いが、「対応できず輸送を断っている」ケースも43.5%の事業者で生じている。

1. 回答ドライバーの概要

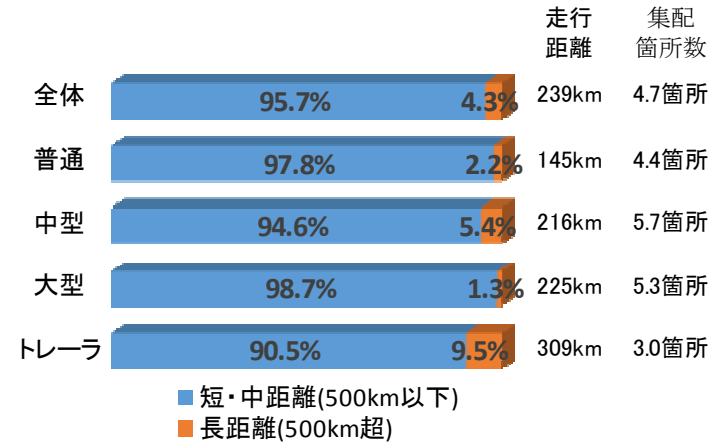
乗務車両の車種別構成



車種別の年齢構成

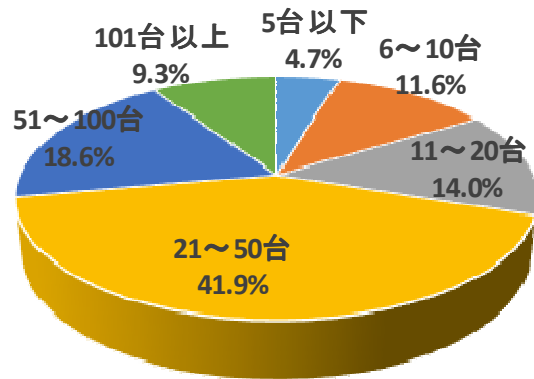


1運行における走行距離等

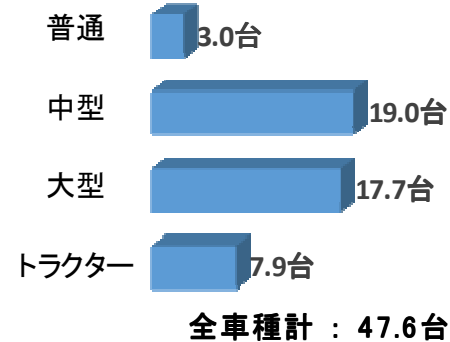


2. 回答事業者の概要

保有車両台数別の事業者数分布



平均保有車両台数

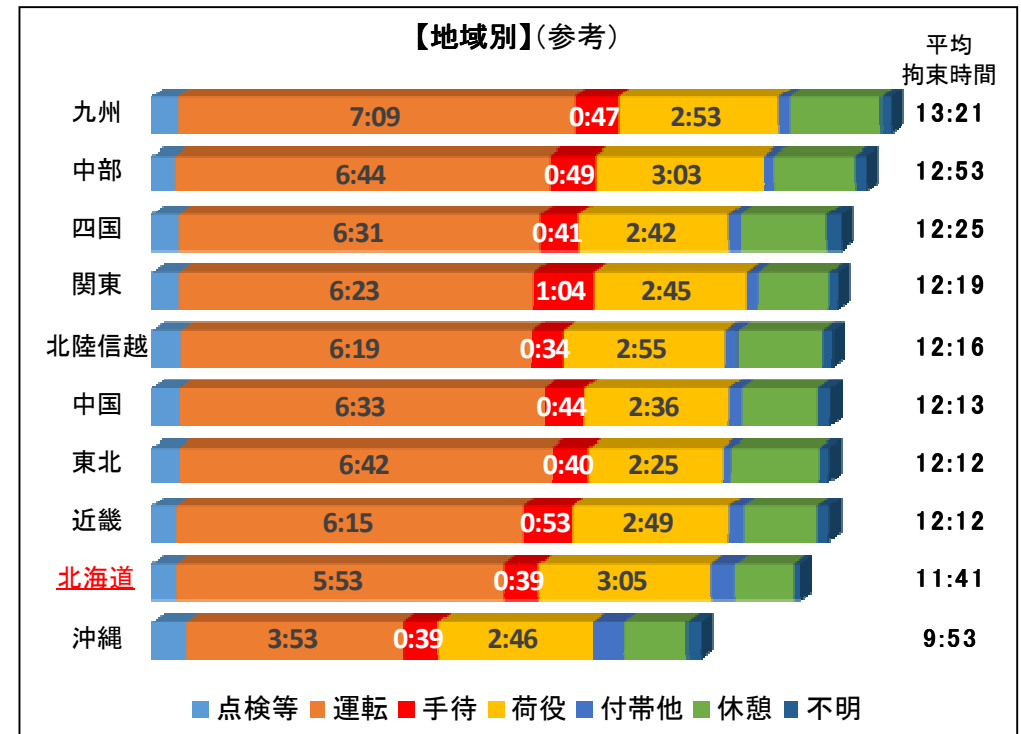
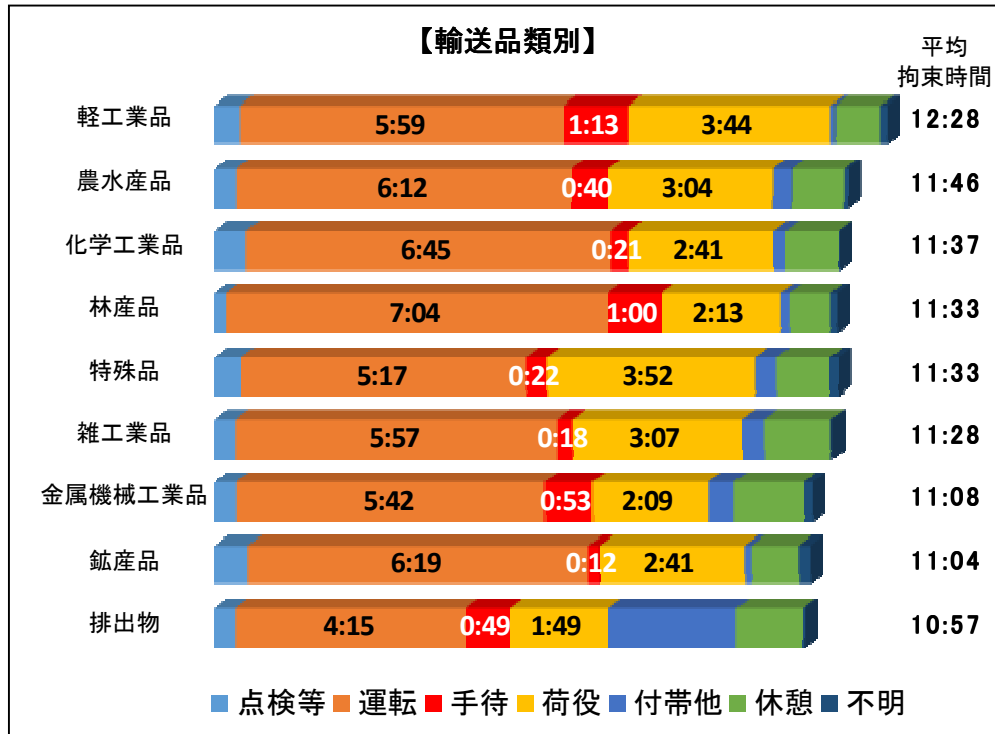
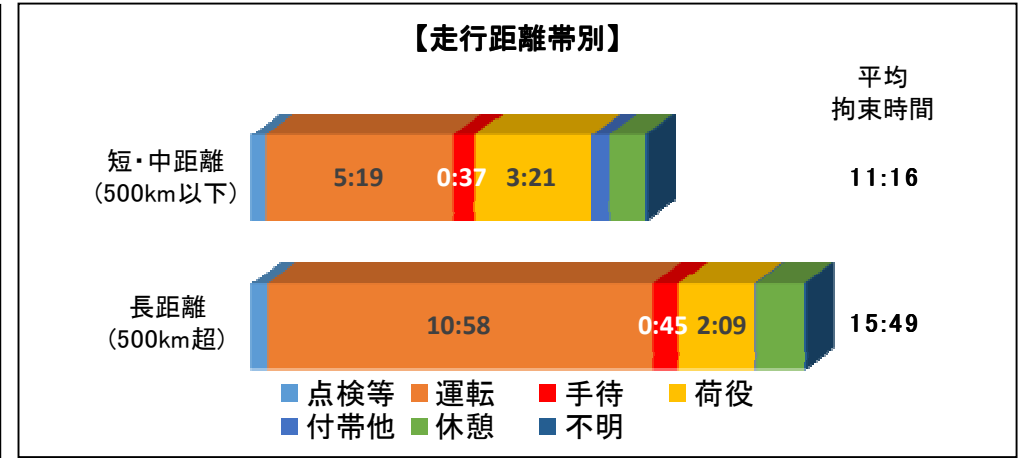
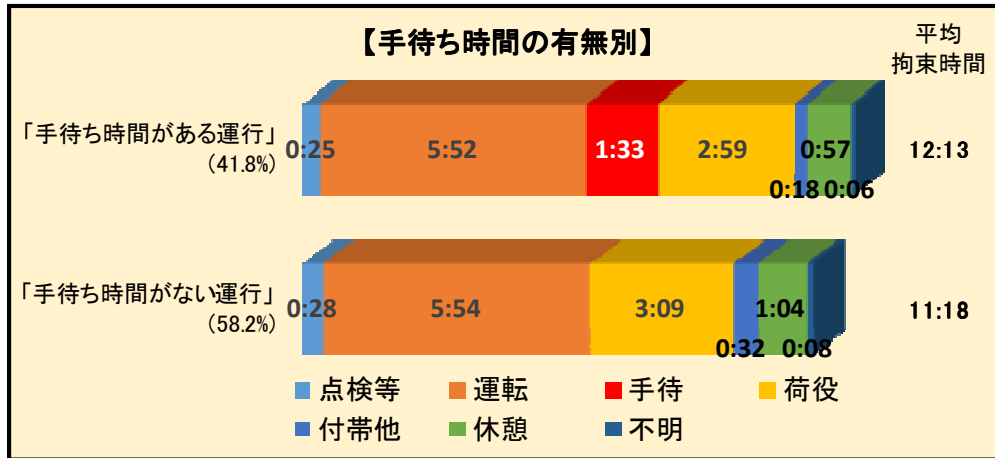


地域別の有効回答事業者数

地域	事業者数
北海道	43社
東北	139社
関東	208社
北陸信越	86社
中部	129社
近畿	184社
中国	137社
四国	104社
九州	199社
沖縄	23社
全国	1,252社

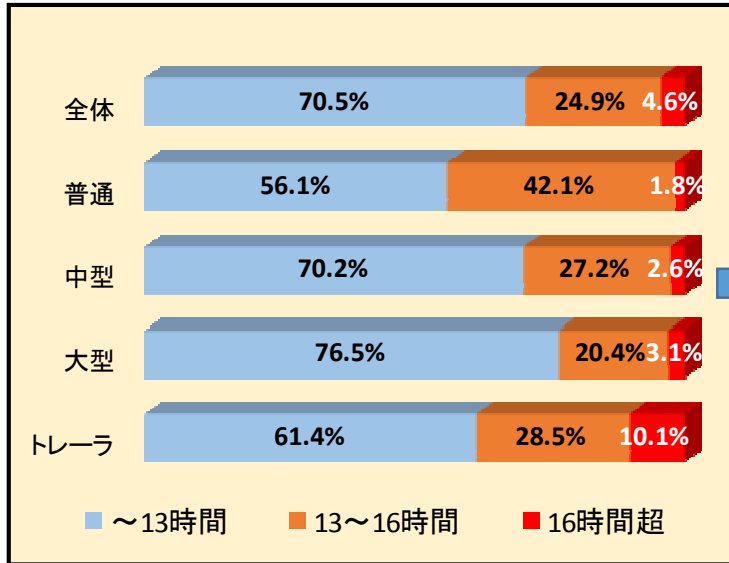
3. ドライバーの拘束時間の概要

1 運行当りの拘束時間とその内訳

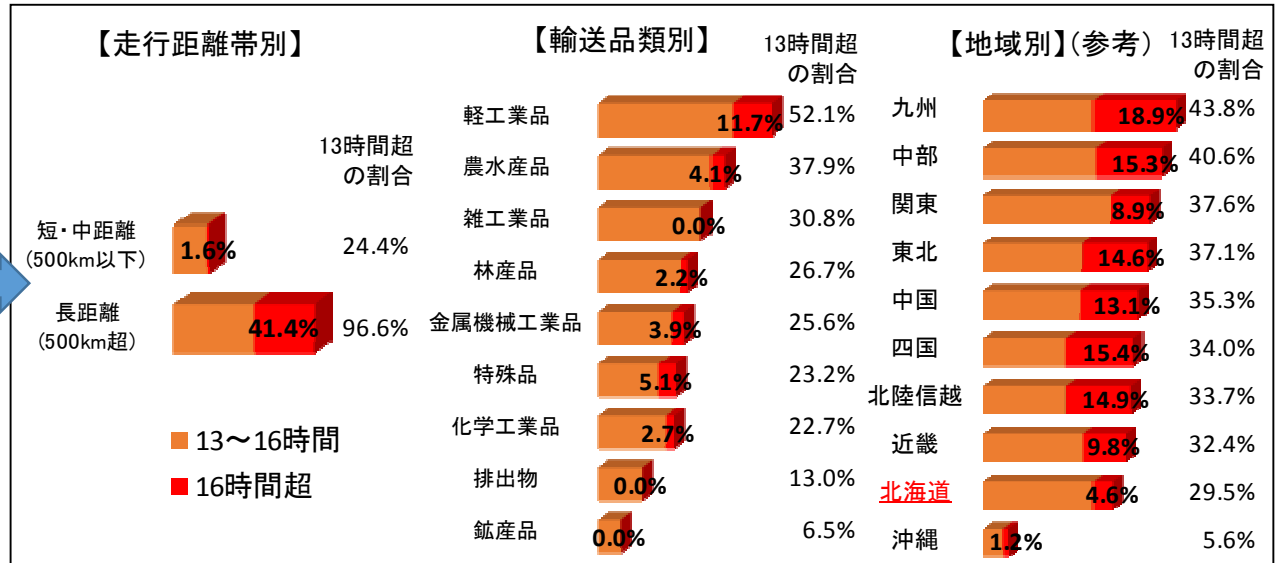


4. ドライバーの拘束時間等の分析①

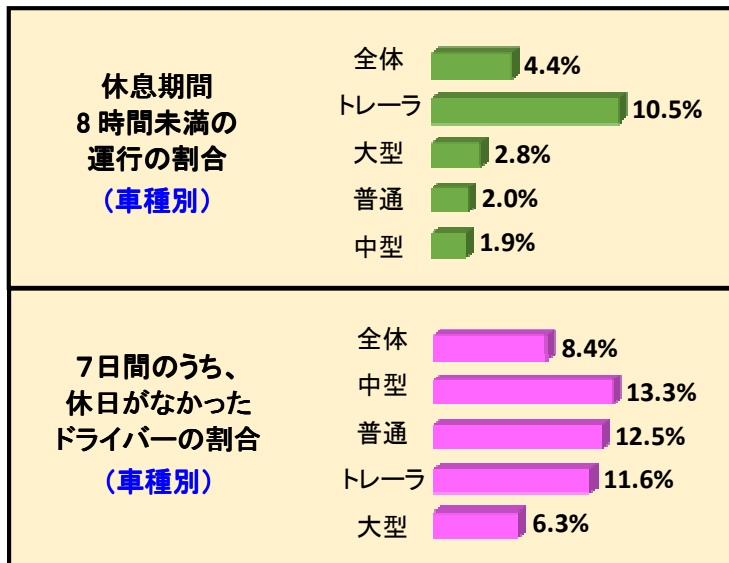
1 運行の拘束時間



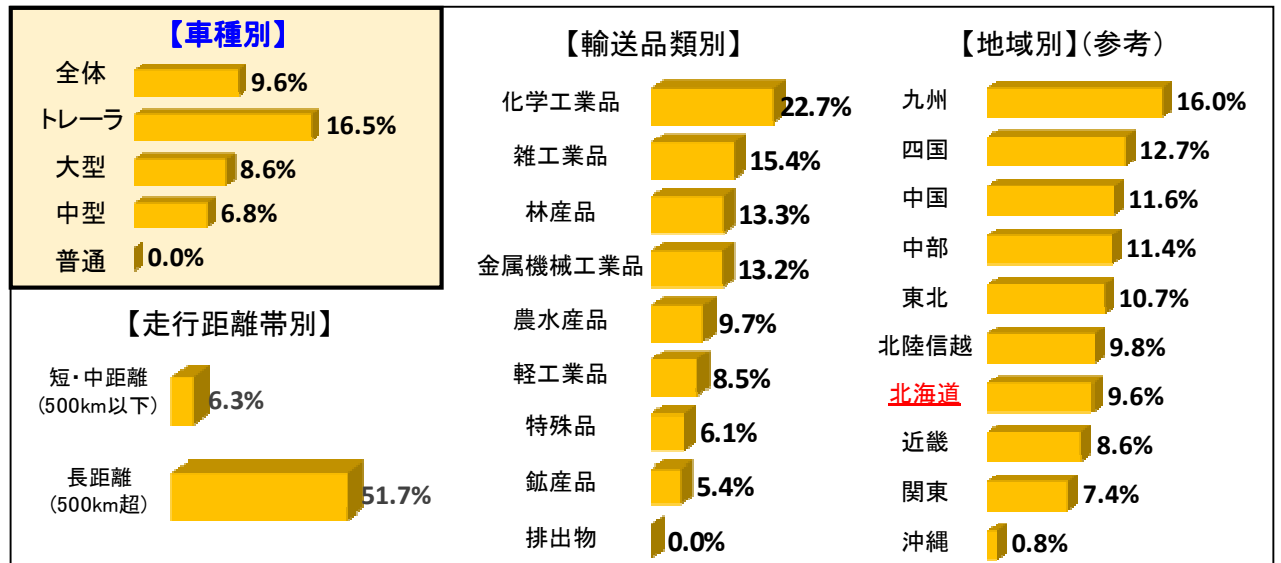
拘束時間 13 時間超、16 時間超の割合



休息期間、休日の取得状況

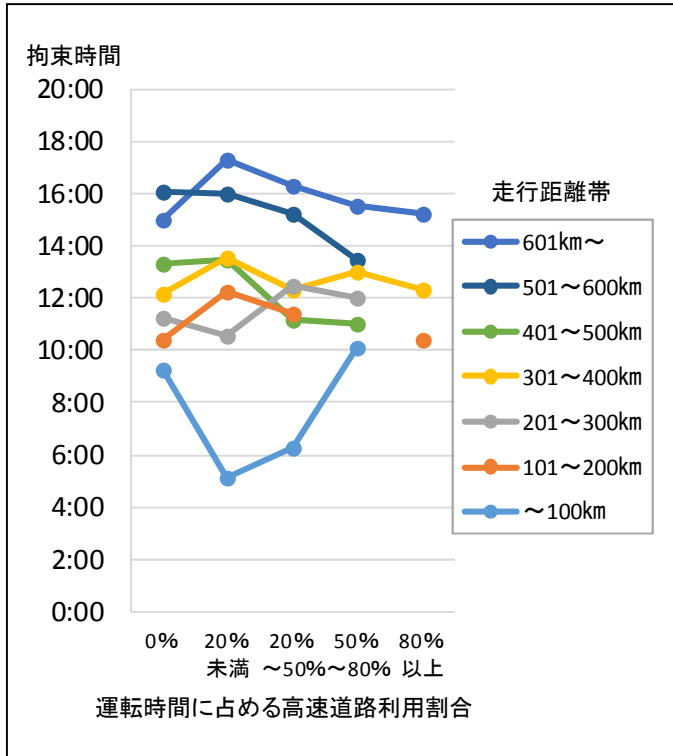


連続運転時間 4 時間超の運行の割合

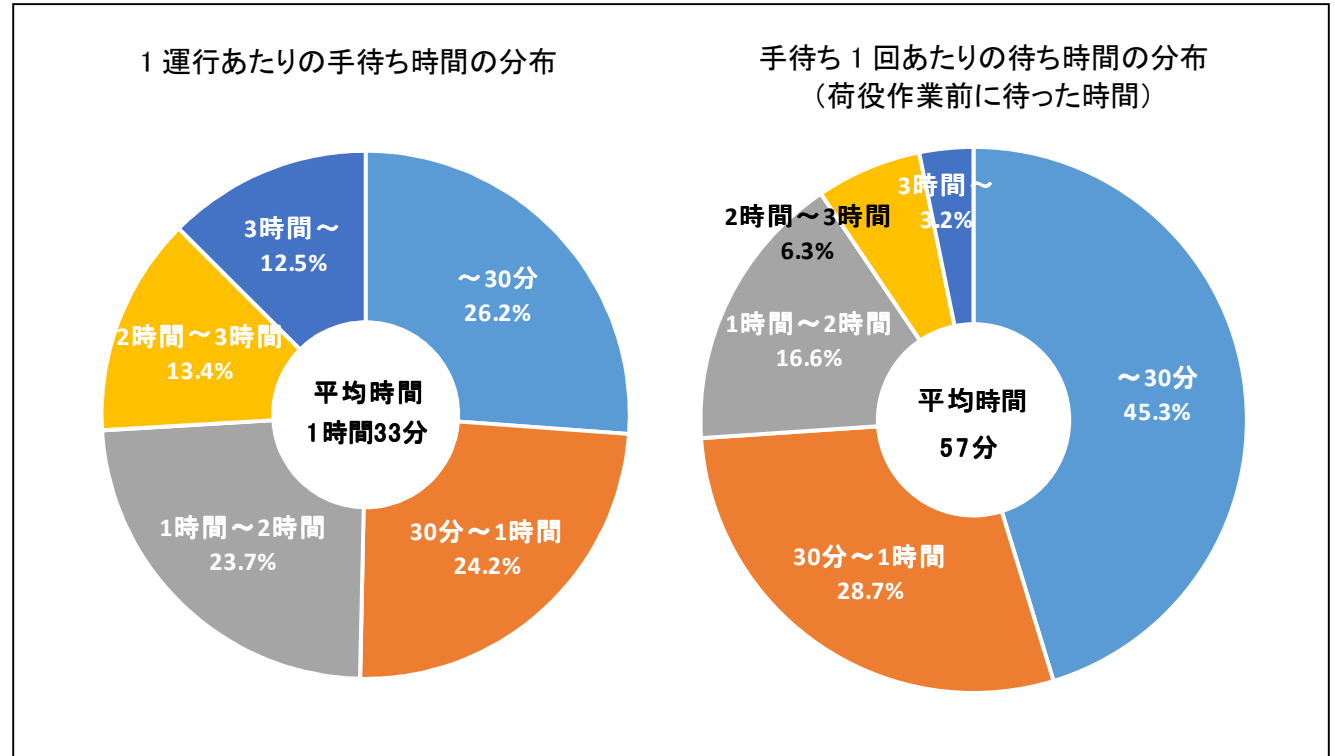


4. ドライバーの拘束時間等の分析②

高速道路の利用割合と拘束時間の関係



手待ち時間の発生状況



荷主都合による手待ち時間の発生状況

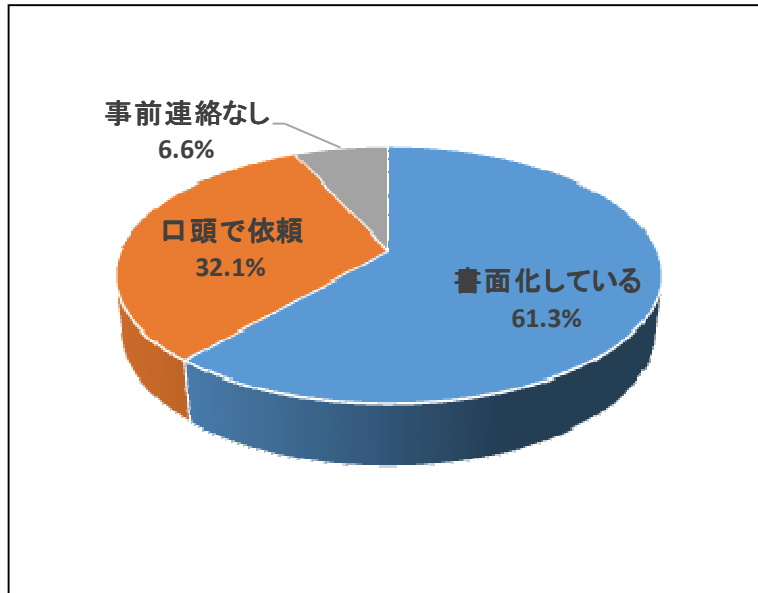
荷主都合による手待ち時間の長い上位5品目 (延べ発生回数: 485回)	発生回数	平均時間
紙・パルプ	68回	1:49
完成自動車・オートバイ	6回	1:48
空容器・返送資材	11回	1:23
廃棄物	12回	1:10
プラスチック性部品・加工品、ゴム性部品・加工品	2回	1:00

発着荷主別 (延べ発生回数: 497回)		平均時間
発荷主	(36.4%)	1:01
着荷主	(63.6%)	0:57

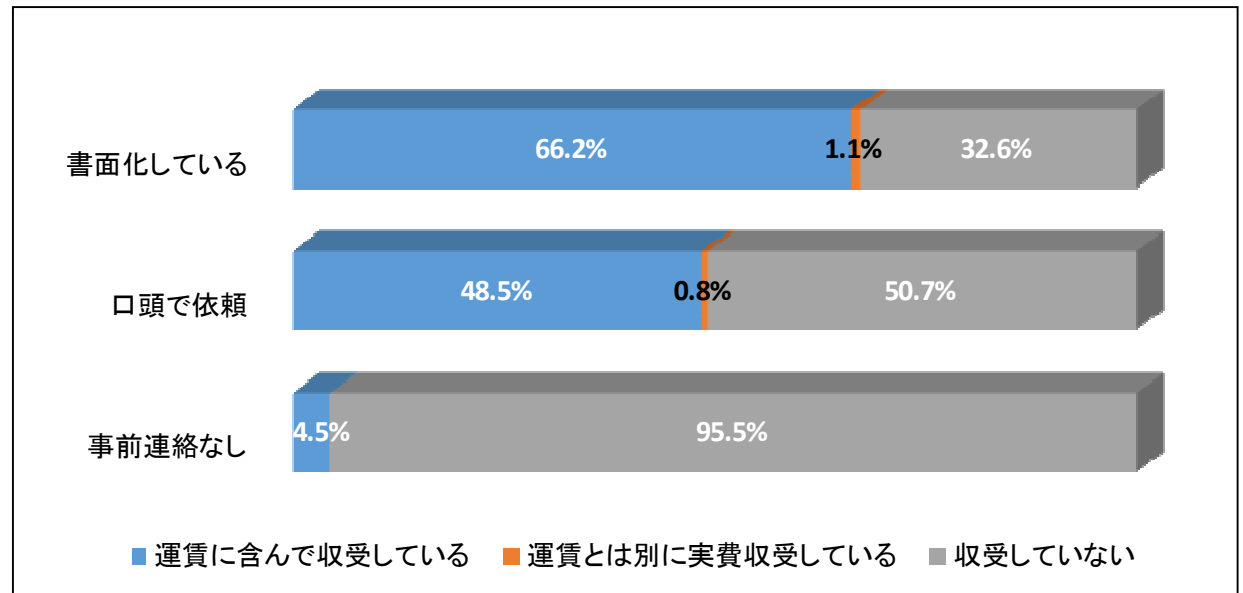
時間指定の有無別 (延べ発生回数: 506回)		平均時間
時間指定あり	(33.6%)	1:21
午前・午後の指定あり	(14.4%)	0:50
時間指定なし	(52.0%)	0:46

5. 荷役の書面化、荷役料金收受の状況

荷役に関する書面化の有無の状況



荷役に対する書面化の有無と荷役料金の收受の有無の関係

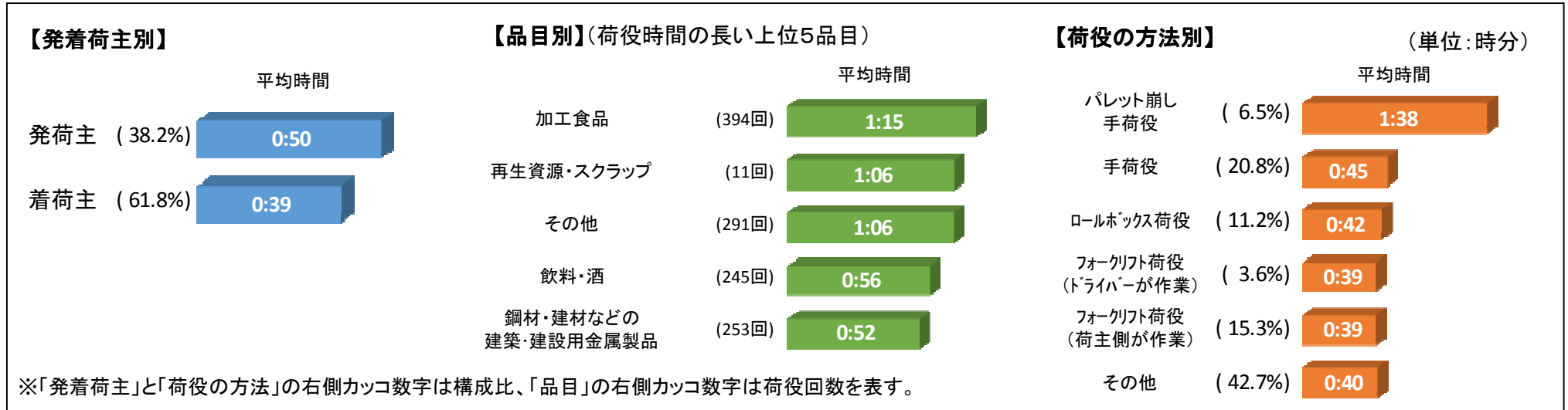


荷役料金の收受の有無と各項目の上位5品目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
運賃に含んで收受している	糸・反物などの繊維素材	完成自動車・オートバイ	原木・材木等の林産品	合成樹脂・塗料など 化学性原料	医薬品
運賃とは別に実費收受している	プラスチック性部品・加工品、 ゴム性部品・加工品	鉄鋼厚板・金属薄板 ・地金等金属素材	鋼材・建材などの 建築・建設用金属製品	空容器・返送資材	米・麦・穀物
收受していない	金属部品・金属加工品 (半製品)	廃棄物	再生資源・スクラップ	宅配便・特積み貨物	衣服・布団などの 繊維製品

6. 荷役、付帯作業の発生状況

荷役時間の発生状況



その他の付帯作業の内容と発生している割合の高い上位5品目

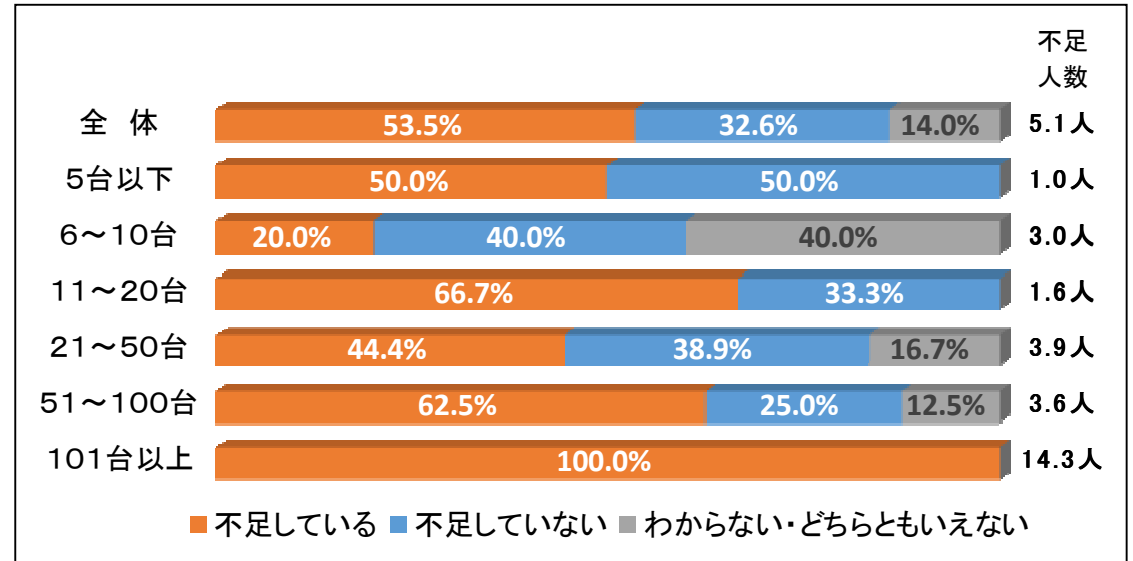
付帯作業を伴う荷役作業回数(862回)	件数	回答比率	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
保管場所までの横持ち運搬	399件	46.3%	糸・反物などの繊維素材	プラスチック性部品・加工品、ゴム性部品・加工品	精密機械・生産用機械・業務用機械	金属部品・金属加工品(半製品)	鋼材・建材などの建築・建設用金属製品
検品	302件	35.0%	精密機械・生産用機械・業務用機械	加工食品	飲料・酒	医薬品	衣服・布団などの繊維製品
商品仕分け	180件	20.9%	鋼材・建材などの建築・建設用金属製品	加工食品	宅配便・特積み貨物	医薬品	生鮮食品
棚入れ	102件	11.8%	加工食品	プラスチック性部品・加工品、ゴム性部品・加工品	米・麦・穀物	鋼材・建材などの建築・建設用金属製品	完成自動車・オートバイ
ラベル貼り	50件	5.8%	紙・パルプ	加工食品	米・麦・穀物		
納品場所の整理	48件	5.6%	鋼材・建材などの建築・建設用金属製品	米・麦・穀物	プラスチック性部品・加工品、ゴム性部品・加工品	飲料・酒	日用品
資材、廃材等の回収	13件	1.5%	飲料・酒	加工食品	その他		
その他	83件	9.6%	廃棄物	生鮮食品	紙・パルプ	機械ユニット・半製品	日用品

7. 事業者調査結果

労働時間の実態(平成 27 年 7 月)

労働時間の項目 (カッコ内は改善基準告示の概要)	平均時間		
	泊付きの 輸送を 担当	日帰り 輸送を 担当	泊付き及び 日帰りの 両方を担当
1 か月の拘束時間 (293時間以内)	250.0時間	240.8時間	277.7時間
1 日の拘束時間 (原則13時間以内、最長16時間)	11.0時間	10.2時間	8.3時間
1 日の運転時間 (2日平均で1日当たり9時間以内)	6.5時間	5.7時間	7.2時間
1 週間の運転時間 (2週平均で1週間当たり44時間以内)	39.5時間	31.4時間	38.0時間
連続運転時間 (4時間以内)	3.5時間	2.5時間	3.8時間
1 日の手待ち時間	2.0時間	1.3時間	2.2時間
1 か月の総労働時間	449.0時間	216.3時間	223.7時間
1 か月の時間外労働時間	49.0時間	36.7時間	73.7時間
休息期間 (継続8時間以上)	11.0時間	7.9時間	5.8時間

ドライバーの不足状況



ドライバーが不足している場合の対応

